

(別紙2) 過去の事業例 協働による未来みやざき創造公募型事業(H25~28)、多様な主体との協働提案公募型事業(H22~24)

| 年度 | 事業名 | 代表団体 | グループの構成団体 | 県の関係課 | 事業内容 | 委託料 | 主な事業実績 |
|-----|---|------------------------|--|-------------------|---|-------|---|
| H28 | 子ども食堂から繋がるネットワーク事業 (自由テーマ) | NPO法人 みやざきママパパhappy | NPO法人みやざきママパパhappy、株式会社ナチュラルビー、NPO法人みやざき子ども文化センター、(株)宮崎日日新聞社、宮崎県社会福祉協議会、高鍋町社会福祉協議会、学校法人三育学園認定こども園光が丘幼稚園、日高母乳育児コンサルタント、再生会児童養護施設さくら学園、(一社)日本プレミアム能力開発協会 | 福祉保健課 | 子ども食堂が全国的に広がっている中で、改めて理念やノウハウの普及、先進事例の紹介を行う必要があることから、宮崎県内における子ども食堂ネットワークを形成し、スタートアップ事業としてシンポジウムを開催。 | 400千円 | 実行委員会(4回) シンポジウム |
| | 障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会実現を目指すワークショップ開催事業 (県掲示テーマ) | NPO法人 PAみやざき | 特定非営利活動法人PAみやざき、一般社団法人宮崎県商工会議所連合会 | 障がい福祉課 | 県民の障がい及び障害者への理解を深めるため、ファミリーターの養成や障害当事者自身がファミリーターとして、今置かれている現状、目指すべき姿等を伝え、共に生きる社会実現のための啓発活動を実施。 | 600千円 | ファミリーター養成ワークショップ 地域ワークショップ(4回) |
| H27 | ずっと続く親子の絆づくりプロジェクト | 一般社団法人 エンパワメントみやざき | NPO法人ドロップインセンター | こども政策課 | 乳幼児期に親子の絆を作り、その良好な親子の絆を保ち子どもが成長する中で必要となる社会スキルを子どもに教えるという一連の事業を実施。 | 600千円 | 子育て支援者向けスキルアップ研修(2回) 子育て仲間づくり(4回) 講演会及び講座 |
| | 大学生による地元企業取材プロジェクト | 有限会社 プラネットノア | 国立大学法人宮崎大学、宮崎日日新聞社 総合メディア局、ミライルーベ | フードビジネス推進課 | 大学生を対象に地元の中小企業や小規模事業者への取材プロジェクトを実施することを通じて、若者自身の自己理解・職業理解の意識向上を目的として、下記の事業を実施する。 | 600千円 | 事前研修会(5回) 企業取材 記事作成 中間ブラッシュアップミーティング 事後研修会 最終報告会 |
| | カーボン・オフセット推進のためのCFP商品流通促進支援事業 | NPO法人 宮崎文化本舗 | 株式会社宮崎竹田青果、齋藤水産有限会社、株式会社なな葉コーポレーション、宮崎大学農学部 | 環境森林課 | 県内のカーボン・オフセットの取り組みを行うことによる推進やCFP商品の流通促進に繋がる支援事業を実施。 | 800千円 | クレジット保有企業による実行委員会設立 学生を巻き込んだ環境付加価値のマーケティング実践(2回) イベント(5日間) |
| H26 | 子育てに苦しむ親への支援事業 | NPO法人子ども虐待防止 みやざきの会 | マイツリーみやざき | こども家庭課、児童相談所 | これまであまり着目されてこなかった虐待をする親に対する回復支援のため、相談対応や心理教育プログラムに基づくグループミーティングを実施。 | 300千円 | 電話・メール相談対応 心理教育プログラムに基づくグループミーティングの実施(11回) |
| | 女性の視点を活かした地区防災計画モデルフレーム作成事業 | 一般社団法人 みやざき公共・協働研究会 | 宮崎県 山崎株式会社 | 危機管理課 | 生活の運営を担うことの多い女性の視点を取り入れた地域の防災活動の広がりを目指すため、女性の視点でのシンポジウムや地区防災計画モデルフレームの作成を実施。 | 800千円 | 女性防災シンポジウム 1回 アンケート調査 検討委員会 3回 |
| | みんなの居場所づくりプログラム事業 | NPO法人ドロップインセンター | うみがめのたまご ~3.11ネットワーク~ ミヤザキ村Coming館 | 福祉保健課 | 支援ニーズを内包する孤立者が気兼ねなく立ち寄れる従来の分野や概念にとらわれない支援の場づくりを実施する。 | 300千円 | 交流イベント 4回 ①みんなで交流お餅つき ②豚汁ランチ会&おさがりプレゼント会 ③東北ナイト ④リアル鬼節分 |
| | 精神障がい者のソーシャルワーク・トライ事業 | NPO法人宮崎もやいの会 | 有限会社サン・グロウ みやざき高次脳機能障がい家族会あかり | 障がい福祉課、精神保健福祉センター | 精神障がい者の就労や生活の現状把握を当事者自身が行い、安心して生活でき、働ける社会のあり方を自らが構想するソーシャルワークを実施。 | 600千円 | アンケート調査 インタビュー調査(DVD作成) 成果報告会(シンポジウム等) |

| 年度 | 事業名 | 代表団体 | グループの構成団体 | 県の関係課 | 事業内容 | 委託料 | 主な事業実績 |
|-----|--------------------------------------|----------------------|--|----------------------|---|---------|--|
| | 小林・西諸消費者被害ゼロ事業 | NPO法人エコワールドきりしま | 小林地区防犯協会、小林市社会福祉協議会、小林市、小林警察署生活安全課 | 消費生活センター、生活・協働・男女参画課 | 関係機関が連携・協働し、一人暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者にまで悪質商法等への安全対策が行き届くように周知・啓発することにより、小林・西諸地区における消費者被害ゼロを目指すべく、講演会開催、地域に入り込んでの巡回講話、啓発資料の作成等を実施。 | 700千円 | 講演会開催 1回 巡回講話 29箇所 啓発資料作成 3種類 |
| H25 | 加江田渓谷での健康づくりを推進する新コース策定事業 | 加江田渓谷の会 | 青島観光六社会、NPO法人宮崎文化本舗 | 観光推進課 | 加江田地区、鏡洲地区、ひいては青島地区の観光活性化を図るため、加江田渓谷の「登山」目的客のニーズに対応した新コースを策定するとともに、若年層や登山目的以外の客層へ対応できるコースを策定し、それに対応したガイドの養成、青島のアクティビティセンター等と連携した集客体制づくりを実施。 | 650千円 | 新コースの検討・開発 2コース開発 若年層や癒し・健康づくりを目的とした客層を対象にしたアクティビティの開発 新コースに対応したガイド養成講座 10回 青島のアクティビティセンター等との連携強化 |
| | 「世代を超えた住民参加での安心まちづくりを通し、伝統芸能を次世代に」事業 | NPO法人さいと | 下倉・宮水流自治会 | 文化文教・国際課 | 地域の伝統行事・伝統文化の継承を通じ、住民自身が地域の魅力を再発見し、地域のつながり、安心・安全を維持していくための仕組みづくりを行うため、地域住民参加による地域活性化のための検討会、伝統行事・伝統芸能等の伝承のための講座と実践、取組成果の整理・発信を実施。 | 650千円 | 地域活性化のための学習会 2回 伝統行事・伝統芸能等の伝承学習会等 3回 取組成果の整理発信(チラシ作成、地域財産発掘会議でのリーフレット作成、伝承芸能披露、ブログ発信講座開催) |
| H24 | オニヒトデによる獣害対策とフットパス&ジビエ料理でいきいき集落 | NPO法人五ヶ瀬自然学校 | NPO法人レインボーツリー、延岡マリンサービス、日之影町観光協会、森林セラピー推進協議会、高千穂ムラたび活性化協議会、鹿児島大学ほか | 中山間・地域政策課 観光推進課 | 県南部の海で駆除されたオニヒトデを使った県北部山沿いの獣害(鹿・猪)対策実験、乾燥粉末の散布実験、堆肥化活用。 県北部山沿いの集落でのフットパス展開、ジビエ料理の研究。 | 1,500千円 | 乾燥粉末による鹿・猪の侵入防除実験(オニヒトデ粉末単体では効果は薄い傾向) 完熟牛糞・粉末オニヒトデの混合堆肥化(葉物・土物野菜に生育効果) フットパス(原風景を楽しみながら歩く=Foot こみち=Path)コース設定(6コース) ジビエ料理研究 |
| | 五感体験型キッズキッチン事業 | NPO法人食生活応援団ベンチルバスケット | 宮崎県漁業協同組合連合会、宮崎県漁業協同組合、宮崎県農協果汁(株)、医療法人社団星雲きよたけクリニック | 営農支援課 中部農林振興局 | 幼児を対象に五感を使って体験型の調理実習を行うことにより、「食」への興味や関心を高め、健全な食生活の実現を目指す。 | 1,500千円 | キッズキッチン 計17回 |
| H23 | ココロふれあいツアーリズム～中山間・地域からの「絆」発信～ | (株)宮崎放送 | NPO法人みんなのくらしターミナル | 中山間・地域政策課 | メディアを活用した地域での困りごとの解決の場づくり、中山間地域と都市部を繋ぐバスツアー、自然体験活動・世代間交流 | 2,000千円 | 10月～3月まで毎週月曜日にMRTラジオ(5分枠)で、中山間地域の情報発信(計33回)。 日之影大人歌舞伎裏方体験ツアー(10月) 田舎をつくらう!ハイキングバスツアーin高千穂(3月、20名参加) |
| | 「農産物直売所型ウォーキングステーション」モデル事業 | 庵川東・牧山地区農用地利用改善組合 | 宮崎県ウォーキング協会、(有)サングロウ、門川町 | 東臼杵南部農業改良普及センター | 産地ウォーキングを楽しめるイヤーフットコースの設定とマップ等の製作、ウォーキングステーションの認定取得、産地消・産地ウォーキング大会の開催 | 2,000千円 | ウォーキングステーション及びイヤーフットコースの認定(11月) 案内板、マップ作成 産地消ウォーキング大会開催(12月、180名参加) HPIによる情報発信 |

| 年度 | 事業名 | 代表団体 | グループの構成団体 | 県の関係課 | 事業内容 | 委託料 | 主な事業実績 |
|-----|--|---------------------------|------------------------------|-------------------------------|---|---------|---|
| H22 | 「アート×デザイン」で障害者自立支援施設の運営支援 Hello!Artist《ハロ-アーティスト》事業 | 合同会社らくがきART | (有)サン・グロウ、フクダの会、 宮崎産業経営大学 | 障害福祉課 就労支援・ 精神保健対 策室 | 福祉施設における商品開発に アーティスト等が加わることによる 魅力的な商品作りとウェブサイトで の販売 | 1,500千円 | 障害者福祉施設8施設とアーティスト・デザイナーが組 んで商品開発し、9店舗で福袋を販売。 |
| | 若年者人材育成・就労サポート 事業 | NPO法人宮崎キャリア・コン サルタント協会 | 宮崎大学、(株)インタークロス | 労働政策課 | 若年者等の人材育成及び就労 支援のため、社会人・企業交流 会や大学就職担当者研修会、 キャリアカウンセリング等を実施 | 1,500千円 | キャリアカウンセリング 30回 企業・職業研究会 19回 面接練習 5回 社会人等(内定者)交流会 5回 企業交流会 2回 就職担当者研修会 1回 実施回数計 62回(延べ293名参加) |